日本バイリーン株式会社

中期事業戦略「SRP2020」

2021年12月

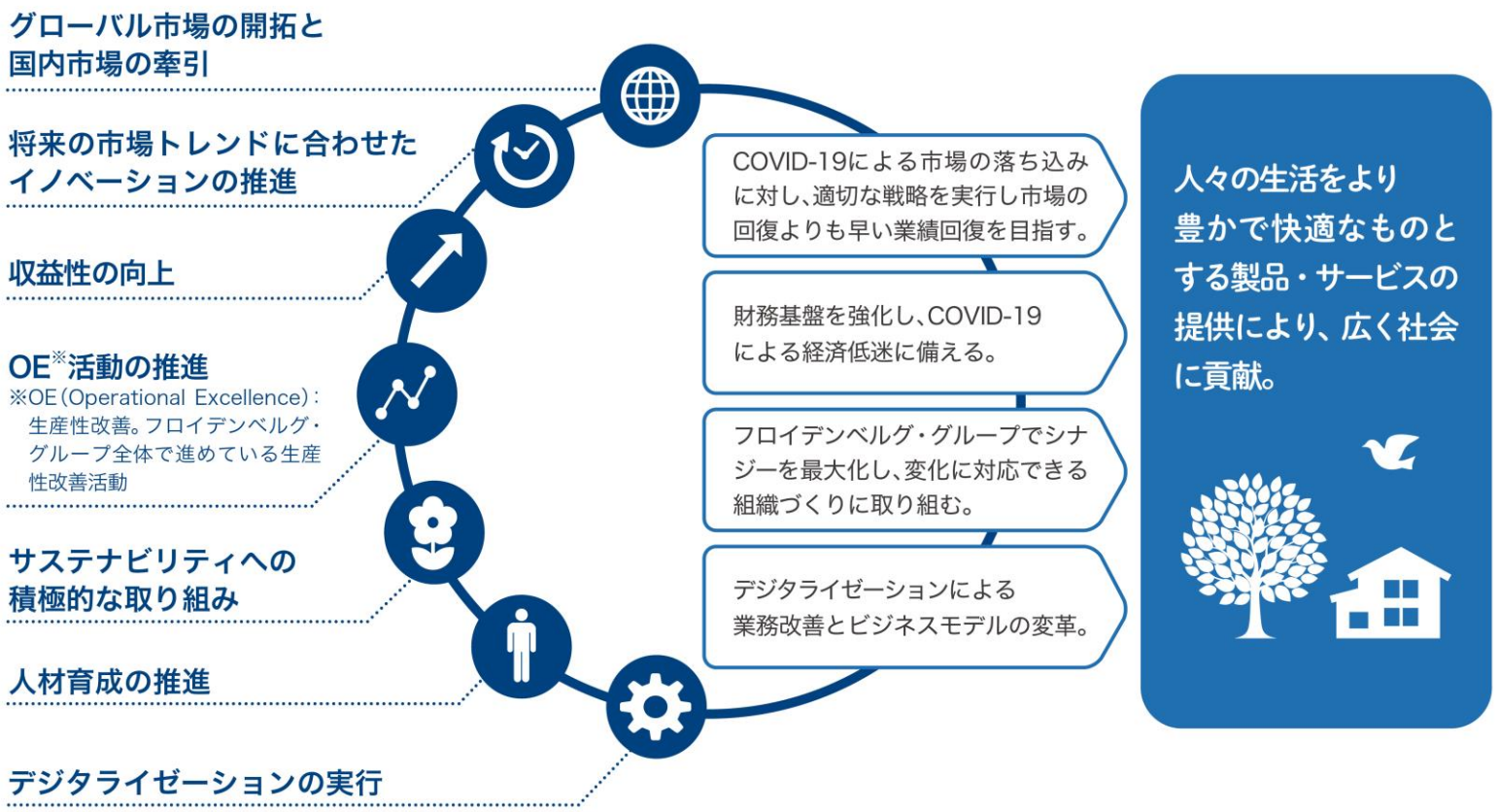
日本バイリーン株式会社

JAPAN vilene GROUP

a brand of FREUDENBERG

1. SRP2020 ビジネスミッション

- SRPは「Strategy Review Process」の略で、フロイデンベルグ・グループに所属する全てのビジネスグループが、3年に1度、同じ手順で、戦略と計画をまとめます。
- SRP2020では、下記ビジネスミッションを掲げ、2021年～2023年の戦略および計画を策定しました。



2. SRP2020戦略目標

- SRPでは、戦略目標を六つの切り口（市場、イノベーション、生産性改善、人材開発、収益性改善、流動性改善）に分けて示しています。

1. 市 場

- COVID-19から市場よりも早く回復する：2023年度売上高2019年比＋3.1％、年平均成長率3.9%
- 変化する市場に合わせたポートフォリオの変更
- トップシェア維持のため新規顧客を獲得
- 衰退市場・将来性のない市場に合わせた事業縮小

2. イノベーション

- 新製品が売上高に占める割合：40%以上
- 新製品開発
- 機能性の追加付与
- サステナビリティへの対応
- 次世代電池
- CASE対応

3. 生産性改善

- 市場変化に対応した国内外の生産拠点見直し
- グローバルオペレーションの推進
- ロボット他生産自動化の推進
- 業務、生産工程最適化
- デジタライゼーション

4. 人材開発

- グローバルHRマネージメントの構築
- 効果的な人材育成
- 特定技能を保有する人材の採用

5. 収益性改善

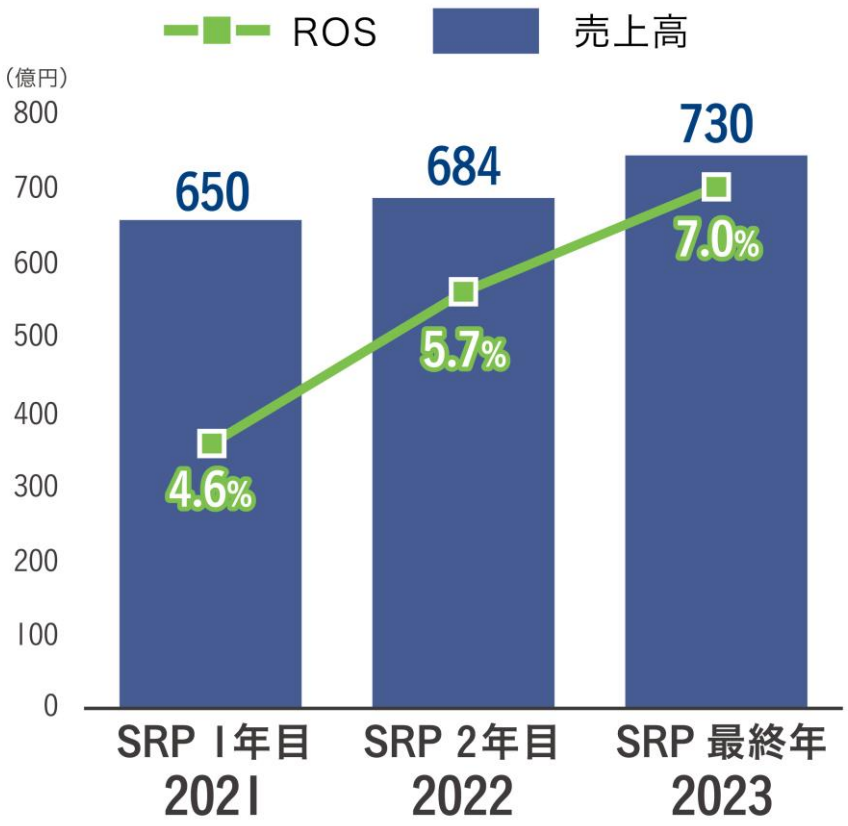
- 2023年 ROS※：7.0%
- 生産性の向上
- 低収益事業に対する改善施策の実行
- 価格戦略の明確化と、資材、原燃料の調達効率化

※ROS：Return on Sales（売上高利益率）

6. 流動性改善

- キャッシュポジションの増加と在庫の適正化
- 売上高に対する設備投資比率のコントロール

3. SRP2020 数値目標



本資料中の業績見通しおよび事業計画についての記述は、現時点における
将来の経済環境予想などの仮定に基づいています。
本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。